

まつぼっくり

学校教育目標「支え合い・学び合い、多様な達成感を体感し、ふるさとを愛する児童の育成」



最高学年の気概

三角小学校は豊かな自然に囲まれています。海、丘、木々、草花、竹林等々、いく種類ものたくさんの自然です。空気もきれいでいい環境です。その自然が故、学校近くの登校道路脇は木々がたくさんです。空気は美味しいのですが、落ち葉がいっぱいです。雨に濡れた枯れ葉は、滑りやすく車で坂を上るとスリッパします。まるで雪道のように危険です。また、落ち葉が道路脇の側溝にたまって流れる水があふれ出し、これまた危険で近所にも迷惑をかけてしまいます。そこで必要なのが落ち葉

6年生 朝の落ち葉掃き



の除去です。東側の登校坂も南側の登校坂もものすごい量の落ち葉です。その量は、私が勤務した学校の中で一番かもしられません。用務員の山田先生が、毎日一生懸命汗だくになりながら作業しておられますが、一人でこなせる量ではありません。そこで、6年生の登場です。ほとんどの6年生が朝から外に出て、竹ぼうきや熊手、一輪車を持ち、清掃活動に取り組んでくれます。その姿を見ている私はなんとも言えない気持ちになり、この子たちと同じ学校に居ることの喜びを感じます。このような行動のできる、学校のリーダーである6年生の生い立ちを想像すると、各ご家庭や地域の方、保育園やこれまでの小学校生活で関わってきた周りの人たちからの愛情をたくさん受けてきた証ではないかと感じます。

朝の登校

朝の登校では、1年生の歩調に合わせて歩いたり、「はみでないで、1列で並んでね。」「前を見てね。」など、声をかけたりしながら、下学年のことを考えたやさしさをたくさん発揮しています。また、日頃のあいさつも立派です。「あいさつ」を多くの6年生が、明るく、いつも、先に、伝わるようにしてくれます。校長がお願い

ろうかの清掃



いしたことを実行してくれています。右上の写真は、そうじの様子です。これも精一杯やってくれます。本当に見ていて気持ちがいいです。最高学年としての気概を感じます。この様な6年生なので、気が早すぎますが、立派な卒業式になると確信しております。今から1年後の、更に成長した6年生に会えることを楽しみにしております。

気持ちのこもったあいさつ

立派な1年生！

右の写真は、朝の登校途中の様子です。入学したばかりの1年生が丁寧に辞儀をして地域の方に、「明るく」「先に」「伝わるように」、「おはようございます。」と言っているところです。

実は、登校班における課題はどこの学校もあります。欠席の連絡をせずに登校班の子どもたちが待たされ続ける、低学年が高学年の言うことを聞かない、高学年が低学年をほったらかしにする、子どもたちの安全を守る登校班が、全く機能しないのです。教師も指導に疲弊してしまいます。そして、登校班自体がなくなっている学校も増えています。登校班をうまく軌道に乗せ、維持していける学校はもう当たり前ではないかもしれません。当たり前にするためには、子供の意識、教師の意識、保護者や地域の方々の力が必要です。相手を思いやる心、忍耐力などいろいろな力が登校班を継続することで身につけていきます。三角小学校は、登校班を続けます。今後もご協力お願いいたします。

